

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス戸塚Ⅱ教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中学生を対象とした、自立に向けたプログラム(トレーニング)を展開している。	本部から提供される教材を中学生向けにカスタマイズしたり、教室独自のプログラム(コミュニケーション、作業、PC、金銭理解)を取り入れたりと、より生活に密着した内容のプログラムを実施しています。	利用者本人および保護者様の意向の変化に応じたプログラム内容のアップデートをしていきたいと考えております。
2	保護者との十分な面談時間を確保するようにしており、その結果、保護者からの満足度が高く評価されている。	保護者様との面談を大切にしたいという想いから、面談時間を長く設定できるようスケジュール調整を行っています。また、何か困りごと等があった際に、すぐに連絡が取れる関係性の構築に務めています。	当事業所は送迎を行っていないため、保護者との関わりは児童発達支援管理責任者による面談が主で、他の事業所職員との交流が限定的です。そのため、以前行っていた保護者参観日の再開等を通じて、保護者との関係構築を図っていききたいと考えています。
3	同世代の子どもたちと交流できる点が支持されている。	主に中学生を対象とした事業所であるため、年齢や発達段階に応じた支援を心がけております。卒業後を見据え、支援の頻度や方法、過度な支援とならない点に配慮しています。	左記の支援を実践するために、常勤・非常勤職員を問わず全職員が一体となった支援が必要だと考えます。そのために、職員間の支援方法の共有に注力してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ICTを通じた効率的な運営面に改善の余地がある。	子どもたちの入退室記録や保護者とのやりとりが紙面を通じており、ICTの活用が十分にできていない点が課題と認識しています。社内システムの改良により部分的に対応は可能ですが、保護者様の利便性を踏まえると、他社製ソフトの導入も含めて検討の必要性があると考えております。	左記のとおり、費用対効果や利便性を踏まえた、システムの検討をすすめてまいります。
2	保護者や地域に開かれた事業運営について不十分なところがある。	保護者が活動の様子を見る機会がなかった点や地域における教室の認知度が十分でなかった点が考えられます。	昨年度まで実施していた保護者参観日の再開の検討に加え、現在実施しているSNS等を通じた活動内容をお知らせを継続してまいります。また自立支援協議会や地域イベントを通じて、当教室の認知度の向上に努めていきたいと思っております。
3			